

## 2025 年度施設代表者会議議事録

日 時： 2025 年 6 月 15 日(日) 11 時 00 分 ～11 時 35 分

会 場： 川崎医療福祉大学 講義棟 4601 講義室

司会：藤岡 克徳

書 記：綱島 充英

### <報告>

#### 1. 岡山県臨床検査技師会 外部精度管理の運営について

近年、外部精度管理は購入試料を用いて実施しているが、その費用が高騰してきている。

他県では、県や医師会がその費用を負担している県もあるが、岡山県は医師会と技師会で費用を折半している(約 200 万円ずつ)。医師会より近年の外部精度管理費用高騰について、申しれがあり、試料の調達方法等見直す必要がある。

2025 年度は血液部門 末梢血液を購入管理試料から調整生血液に変更して実施する予定。

血液の採取にあたり、健康問題・倫理問題が挙げられるが審議しつつ進めている。

単純に参加費を値上げすることで片付く問題ではなく、今後も様々な変更が起こりうる。

#### 2. 日本臨床検査技師会 外部精度管理の運営について

日本臨床検査技師会 外部精度管理運営についても同様のことが起きている。日本臨床検査技師会では余剰金を精度管理事業に使用しているが資金に余裕がなくなっている。今後、外部精度管理参加申し込み費用が値上げされる可能性がある。

日本臨床検査技師会としては、国の事業として実施してもらえないか申請をしているところである。

#### 3. タスクシフト/シェア研修会に関して

5 か年計画に則り 60 名/回の研修をこれまで実施してきたが、2025 年 7 月と 11 月に予定している研修以降、岡山県での開催予定は現在のところない。技師会員数の少ない鳥取・徳島・愛媛では既に開催されておらず、研修申込日を 1~2 日早めに岡山優先にしているが、他県へ開放した時点で多くの申し込みが入ってきている。

今後は東京・大阪といった中央開催のみになっていくと思われる。技師免許に関わる事業のため皆さんに受講していただきたい。

#### 4. 災害協定について

岡山県と協議中の案件である。技師として何ができるのかについて大きくは、①救護員としての派遣、②被災病院の支援を考えている。災害が起こると県庁に災害対策本部が立てられるが、そこに参加していないと情報が降りてこず何もできない。連絡係を本部に入れるために災害協定が必要となっている。真備豪雨災害時には医師会主導で派遣が行われたため、技師会でも派遣員を募っていたが実際に派遣されることはなかった。今後、災害支援に関する研修会や派遣人員の募集を行っていく。

#### 5. 日本医学検査学会開催について

5 月に鳥取県主催 会場をグランキューブ大阪で第 74 回日本医学検査学会が開催され 4000 人の参加があった。全国学会の開催会場には日臨技が決めた基準があるが、基準

を満たす会場は地方にほとんどない。学会開催が赤字にならないよう会場規模と宿泊施設のバランスが重要となる。今後、学会の在り方を含め様々な提案が日臨技より挙げられるかもしれない。2026年の日本医学検査学会は世界医学検査学会（IFBLS）との同時開催のため、青森県主催であるが会場は幕張メッセと決定している。

最後に、来年度（2026年）は役員改正の年となる。皆様の協力をお願いする。

上記内容について、質疑応答はなく閉会

以上